



発行所 国鉄労働組合盛岡地方本部
発行 齋藤庄司
編集者 沢田光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2012.7.10 第1447号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入ってます」

組織・教宣部長 合同会議

機関紙も全分会発行を目標に

拡大に継続的取り組みを意思統一

6月9日13時15分、国労盛岡地方本部「組織部長・教宣部長合同会議」が、東日本本部の武田幸喜組織部長を迎え、盛岡市の「若手労働福祉会館」において開催され、各級機関の組織部長・教宣部長等45人が参加した。
2006年の「一括和解以降の職場の隅々まで徹底させ、差別感のない安心して働き続けられる職場作り」と運動を構築してきた。今日まで、国労東日本本部内では100人を超える組織拡大があり、現在もその取り組みは成果をあげながら進んでいる情勢の中、地方本部として、新規採用者対策の中間総括・組織拡大にむけた情報交換、地区協や分会の教宣活動の強化等、当面する課題についての意思統一を図った。

変化を感じる発言者の声

会議は、阿部執行副委員長のあいさつで始まり、座長に小林執行副委員長を選出し進められた。
座長就任と、地方本部執行



職場の実態や取り組みを発言する首我さん(北上工務分会)

運動を進めるとした上で、東日本大震災の沿岸被災線区の復興の課題と岩泉線が抱える問題「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」の経過と今後の取り組み課題。◎貨物会社の夏季手当交渉の状況(6月21日妥結)◎国労組織の喫緊の課題である組織拡大にふれ、組織活動と教宣活動は車の両輪関係であり、職場・地域の取り組みを強め、盛岡から組織拡大を勝ち取ろうと訴えた。

東日本本部武田組織部長からは、国労復帰・加入状況や一括和解以降の試験の状況、新規採用者獲得の取り組みや会社の動向等多岐にわたり報告があり「国労の要求を会社が受け入れるなど、情勢は大きく変化している。大胆に組織拡大を」と激励を受けた。続いて、菊池組織部長と沢田教宣部長が当面する取り組みについてそれぞれ提起し、意見交換へと移り、参加者か

東労組から国労復帰者

6月21日青森駅連合分会

6月21日、青森駅連合分会で57歳の仲間が国労へ復帰をしました。この間同じ職場の国労役員をはじめ、分会役員の積極的な関わり作りの中でつながりを深め、「やっぱり国労でこの思いで加入を決心した」と復帰した仲間は話しております。
2006年11月のJR東日本との一括和解以降、2008年3月のJR貨物との和解もあり、国労東日本本部全体では105名(6月

ら以下は状況(要旨)が報告されている。
☆新規採用者と接触できたが、結果は東労組に加入となった。
☆新採用者が国労のパンフレットを渡そうと試みたができなかった。機関紙は第2号発行に奮闘中。
☆東労組に不満を持つ若手社員から声をかけられて飲みに行くことも、趣味のつながりを強めたい。
☆職場で若手社員との会話ができた状況になってきた。
☆レクリエーション等で若者

との交流を図りたい。機関紙第1号は出したが一人で作るのは限界があり続かない。
☆新規採用者の情報が漏れていたような節がある。若手社員との交流は極めて少ない。職場は平成採用者だけでチームを組んで仕事ができる。若手まで若返りが進んでいる。
以上の発言を受け、①系統別に分けた分会集会・職場集会の取り組み②積極的なリスト・アップと具体的・継続的

21日現在の組織拡大が勝ち取られています。
組織拡大は、労働組合にとって元気の「源」です。
闘いの中から創られてきた今日の情勢に一人ひとりが自信と確信を持ち、職場の中心軸に座る中から「仕事」をキーワードに仲間作りを取り組み、「安心して働き続けられる職場作り」「安全・安定輸送の確立」に向け組織拡大の取り組みを強化しよう。

な取り組み③編集委員会を設置する等の工夫をしながら機関紙の継続発行と全分会発行について全体で確認した。
最後に「発言の変化を感じている。9月1・2日に予定している第6回地方本部組織拡大対策会議に、今日意思統一したことの成果を持ち寄ろう」という阿部執行副委員長の前向きな発言が、若手社員の心をつかみ、組織拡大の意気込みを盛り上げた。
阿部執行副委員長(東日本本部副委員長)を座長に選出し、齋藤本委員長の挨拶の中で青森駅連合分会の組織拡大が報告されました。
その後、松井東日本本部書

6月23日、東京都・新橋の交通ビル三階会議室において、東日本本部による今年度二回目「各地方・地区本部組織部長会議」が開催された。9月地方本部と東京3地区本部の組織部長の他、東北貨物協議会、関東貨物協議会、彦田貴弘青年部長等20人、盛岡地本からは菊池要悦組織部長が出席した。
矢部雄一法対部長の司会で始まり、高野苗美委員長の「会社は旅行券支給や検修合理化の一部修正提案等、国労要求に応える姿勢に。ローカルルールは正で、地方に温度

支社交渉への取り組みを確認

地方本部検修合理化対策会議

支社交渉を経て基本要求交渉が終了し今後地方提案、支社交渉に向けた意思統一の場としての会議となりました。
阿部対策委員長(地本副委員長)を座長に選出し、齋藤本委員長の挨拶の中で青森駅連合分会の組織拡大が報告されました。
その後、松井東日本本部書

当面の主な日程

- 7月16日(東京) 脱原発10万人全国集会
7月17日(盛岡) 第10回地方本部執行委員会
7月21・22日(青森) 地本貨物協同結団キャンペーン
7月26・27日(伊東) 第81回定期全国大会
7月28日(福島) 被爆67周年原水爆禁止世界大会福島大会
8月8・9日(盛岡) 地方本部会計監査

組織拡大が意識的に 分会の活動にも変化

東日本本部組織部長会議

6月23日、東京都・新橋の交通ビル三階会議室において、東日本本部による今年度二回目「各地方・地区本部組織部長会議」が開催された。9月地方本部と東京3地区本部の組織部長の他、東北貨物協議会、関東貨物協議会、彦田貴弘青年部長等20人、盛岡地本からは菊池要悦組織部長が出席した。
矢部雄一法対部長の司会で始まり、高野苗美委員長の「会社は旅行券支給や検修合理化の一部修正提案等、国労要求に応える姿勢に。ローカルルールは正で、地方に温度

社会保障と税の 一体改革の一環として進められている「マイナンバー法案」(共通番号制度法案)と名づけられた共通番号制は外国人住民を含む日本で暮らす全員に番号をつけ所得や社会保障の情報を一元管理し、その情報を必要に応じてマッチングするシステム。法案が通ると2014年に番号が決められ、翌年4月からICチップ内蔵のカードが配られる予定になっている。分野を超えた共通の番号を付けることで、行政事務を効率化しようとするもので自治体や加盟する連合も賛成の意を表明している。
共通番号制は、国による国民管理、個人情報漏れによる危険性、それによる被害、社会保障制度が共助ではなく、自己責任にすりかわる危険性など多くの問題をはらんでいる。利用する事務は、年金、保険、住宅、学校、教育、労働など93件で個人の生活全般にわたる広範な情報が一元化される。
政府は「税の公正化と必要人に必要な社会保障」という建前を立てているが、徴税の厳格化と給付抑制に利用されるシステムであることは明白である。今、私達の生活はほとんど電子化された情報となつて蓄積、利用されている。ネットでの買い物、suicaなどの乗車カード、ケイタイの電子マネー、お店のポイントカード。共通番号が民間にも利用されるようになると、こうした生活情報も含めて「番号」という確実な個人識別のインデックスをつけられ管理されることになる危険性も高まる。消費増税の可決、大飯原発の再稼働で国会内がドタバタしている中で可決されないよう、意識を持って反対していこう(京)

# 脱原発に向け運動の前進を図る

## = 第22回青森県平和推進労働組合定期総会 =



6月20日、青森県平和推進労働組合会議第22回定期総会が、青森県労働福祉会館に於いて14時から開催されました。全体で51人参加、国労からも役員として2人と代議員1人が参加しました。

定期総会挨拶で江良議長からは、「県平和労組は今年11

月で結成20周年を迎える。総評・地方労での闘いと取り組みを経て平和労組会議に移行し、この間「反核・護憲・平和」を運動の基調に据え、社民党青森県連合との支持・協力関係のもと、さまざまな取り組みを展開してきた。また一方では、ピーク時26加盟単産25,700人の組織人員が昨年11月末には、14加盟単産1,1000人にまで減少している。今後構成組織の統廃合が進められる状況下において、益々厳しさを増している。平和労組には運動理念がある、今後も我々の運動を未来永劫続けていくために、組織の再編を成功させなければならぬ」と等と決意が述べられ、

「総会には国労からも3人が参加した」

2012年度の全国・東日本本部大会の代議員選挙が6月20日投票、25日開票で実施され、別記のとおり代議員が決定した。

全国大会は、静岡県伊東市で7月26～27日、東日本本部

## 全国・東日本本部代議員決定

### 7月「全国」、9月に「東日本本部」大会

大会は9月6～7日に岩手県盛岡市で開催される予定となっている。

▽全国大会(6人)  
佐藤 弘昭  
(北上駅連合分会)

小野寺勝則 (一関工務分会)  
佐々木研司 (盛岡駅連合分会)  
小林 良宏 (盛岡施設分会)  
佐々木政志 (青森運輸分会)  
笹山 賀庸 (八戸工務分会)  
▽東日本本部大会(7人)  
留場 義継 (宮古地域分会)

小松 成二 (一関運輸分会)  
菊池 要悦 (盛岡駅連合分会)  
中堤 聡司 (盛岡施設分会)  
阿保 光春 (青森運輸分会)  
奈良岡 勝 (青森施設分会)  
阿部 一久 (八戸運輸分会)



= 記念写真に収まる参加者(ホテル前) =

6月19日、第11回国労東日本運輸協議会主催の貨物運輸士学習交流会が新潟県三浦温泉を会場に全国から23人が参加し開催された。盛岡地本からは青森貨物分会の私と古川雅清さんが参加した。

最初に、幹事の中西さん(水戸地本)が、分割・民営化から25年、JR貨物の現状は構造的な解決策が示されることなく社員・家族の犠牲の上に成り立ってきたに過ぎない。人の移動の権利を理念とした「交通基本法」の制定が重要と訴え開会された。

眞田全貨協議長(東京地本)からは、夏季手当において1.58ヶ月プラス0.03ヶ月の回答、災害復興の業務協力と定期昇給カット分の一部であることを会社は表明、要請行動の取り組みの中で会社は「国労にはこんなに分会

東日本本部 貨物運輸士交流会

# 脱線など重大事故発生

## 職場で安全・安定輸送を追求

「脱線など重大事故発生」

関係のない内容まで指摘されている。石勝線の脱線事故や江差線の脱線事故など重大な事故が発生し原因究明が急がれている。貨物会社への支援内容が決定され、23年度に作成した「経営自立計画」を踏まえ、「飛躍」が改定された内容の報告を受けた。

予備勤務学習会では、乗務員勤務は労基法、交番「32条の2」(変形労働時間制)と予備「40条」にわかれ「予備」を会社側都合よく使うための内容になっており、自らの労働条件は自らの手で勝ち取って行く事の大切さを学んだ。

参加者からの、「無呼吸症候群(SAS)の扱いが厳し」「2月に国労加入した仲間を紹介し今後も組織拡大の取り組みが重要」「保安装置が会社間で異なり運転に余計な神経を使う」「鹿との衝突が多く対策に苦慮している」「アクセスのミスが多い」「ヒヤリハットに眠い」と書いたら乗務降ろされた」等の出された問題点を持ち帰り、現場での学習や交渉に役立て改善を求め安全・安定輸送を追求していくことを確認した。

2012佐高信文化塾 平和環境岩手県七

## 原発再稼働を止めよう

### 佐高・小室氏の絶妙対談

平和環境岩手県センター主催の「2012佐高信文化塾」が、6月23日盛岡市・岩手労働福祉会館で約120人

(国労12人)が参加して開催された。第一回目となる今回は「チェルノブイリからフクシマまで」の標題で、佐高信

氏(塾長・評論家)と小室等氏(フォークシンガー)が、原発再稼働阻止に向けた現状を対談した。

対談は佐高氏が現政権に対する辛口の批評を交え語り、小室氏はギターで歌うなど、楽しく学べる文化塾となった。小室氏は「チェルノブイリ事故の6年後に現地を訪れ、高い放射線を出し続けていることに驚いた。福島も現状も同じだ。54基の原発がある事が危険だ」と体験を語り、佐高氏は「今までの常識を変えなければ原発は止められない。放射性物質は除染ではない。放射線物質は除染ではない。移転である。放射線は再生を不可能にする。原発の再稼働を止めなければならぬ」と語り、佐高氏と小室氏の両氏が絶妙に語る対談に、会場を埋め尽くした参加者から盛大な拍手が送られた。

## 組織拡大標語募集

<国労東日本本部>

1. 標語内容  
①他労組組合員等に呼びかける組織拡大標語  
②国労内部を対象とした組織活性化に向けた組織拡大標語
2. 募集期間  
2012年8月1日～8月17日
3. 応募方法  
FAX・メールなどで地方本部へ
4. 表彰  
東日本本部執行委員会で選考し、優れた作品を9月の定期大会で副賞を添えて表彰予定。

期間中、以下の条件でお預入れご契約いただいたお客さまへ 東北ろうきん サマーキャンペーン2012 6/1(FRI)～7/31(TUE)

## オリジナル「扇子&てぬぐいセット」をプレゼント!

対象取引	定期預金	5万円以上の新規お預け入れ または増額書替え	NEW マイプラン (カードローン)	新規ご契約
	積立型預金 (財形預金またはエース預金)	年間積立額5万円以上の新規ご契約または 年間積立額3万円以上の増額のご契約	フリーローン (メンバーズ) (プレスト)	新規ご契約



※キャンペーン対象お取引1回につきブルー・ピンクのいずれか1セットプレゼントいたします。  
 ※それぞれ数に限りがあり、ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。  
 ※写真はイメージです。写真と実際の色が異なる場合がございます。  
 ※キャンペーンのプレゼントはいずれも個人のお客さまが対象となります。また、定期預金では同額書替えや5万円の増額に満たない書替えは対象となりませんので、ご了承ください。  
 ※店頭にて各商品の説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。